

平成 29 年 10 月 南田中図書館指定管理者連絡調整会議 議事要録

日時	平成 29 年 10 月 26 日（木） 14 時 50 分から 15 時 30 分まで
場所	光が丘図書館 第一会議室
出席者	<p>(1) 光が丘図書館（以下「光」） 光が丘図書館長、管理係長、運営調整係長・係員（2）、事業統括係長、子供事業統括係長</p> <p>(2) 南田中図書館指定管理者（株式会社図書館流通センター）（以下「田」） 南田中図書館長、同館業務従事者（2）、本社スタッフ（1）</p>
内容	<p>① 施設管理について</p> <p>（光） 9 月 5 日の冷水器の使用に関する苦情について →（田） 利用者から、冷水器に唾を吐いている男性がいるとの声があった。注意書きを掲示しているが、巡回時も注意して見るよう対応している。</p> <p>（光） 9 月 6 日の会議室の利用に関する苦情について →（田） 会議室が貸し出されていない時の開放状況をホームページで確認できるようにして欲しいとのご意見だった。利用者には電話でご確認いただくようお願いしている。 →（光） 会議室は前日直前まで貸出利用の受付を行っていることや、各館で開放状況が様々であることからホームページ上での公開はしていない。基本的には電話で問い合わせてもらおうことになる。</p> <p>② 事業計画について</p> <p>（光） 7 月実施の東京都環境局が推進する「打ち水日和」について →（田） 図書館正面入り口駐輪場で打ち水を行った。こちらは都環境局の推進事業に初めて参加して行ったもの。区の環境課と連携した「ねりま打ち水大作戦 2017」についても昨年度に引き続き 8 月に実施した。例年「打ち水大作戦」に参加していることから、利用者の認知も進み、すっかり南田中図書館の夏の風物詩となっている。</p> <p>（光） 8 月開催の「南田中図書館 1 日ラジオ放送局」について →（田） 一般財団法人練馬放送と連携し、大人も子供も楽しめる事業として 1 日ラジオ放送局を初めて実施した。会議室にスタジオを仮設し、終日開放して行ったもので、午前中は、図書館スタッフと放送スタッフによるギャラリートークとして対談を見て聞いてもらう形式、午後は、利用者参加型として、DJ 体験、毎月行っている「ねりほん」の公開収録を行った。DJ 体験では、一人一人に 10 秒間での曲紹介といったものを体験してもらった。普段はあまり本を読まない子供達の参加もあり、利用促進につながった。</p> <p>（光） 9 月開催の「頭と身体を使って楽しいシニアライフを送ろう」について →（田） 認知症の原因、症状や予防法等についての講義後、予防法の事例として脳トレと有酸素運動を組み合わせた体操を紹介し、実際に体験してもらった。講義の後に、実際に体操を取り入れた事業は初めてだったが介護予防に興味を持っていただけたと思う。対象年齢を設けておらず、40 代にも役立つ内容だったが、「高齢者向け」と銘打ったことで、参加者が少なくなってしまったことが反省点である。</p>

③ 児童サービス事業について

(光) 夏休みの学校支援の状況は。

→ (田) 図書の整理を中心に学校図書館の環境整備を行い、2校では蔵書点検を行った。2校ともシステムが導入されているため、スムーズに行えた。また、学校支援員が中心となって、8月に図書館で「夏休み！おはなし応援隊」を実施した。これは、夏休みの宿題応援企画として、テーマに合わせた絵本の読み聞かせや関連資料の紹介を行う事業で、紹介した本のブックリストは2階のカウンター横で展示も行った。

新学期の支援については、団体貸し出しや学級文庫の依頼が重なっているが、図書館見学も多く実施している。読書旬間については、ブックトークや図書館クイズの依頼が学校からあり、対応している。

(光) 8月開催の「青少年スペシャルデー」について

→ (田) 中高生を対象として、楽しく参加できる内容で図書館らしいものを考え、フィルムコート掛け体験や豆本づくりを実施した。「青少年スペシャルデー」としているのは、中高生優先の時間と場所を作ってあげたいとの思いからで、昨年度に引き続きの開催となった。昨年度は図書館の仕事体験をしてもらったが、参加者が少なく、その内容ではなかなか参加してもらえないことがわかったので、実際に何かを作成して達成感を得られるようなものがよいと考えた。この世代に参加してもらうには特に中身をいろいろ工夫しないといけない。

(光) 9月の踊り場展示について

→ (田) 石神井東中学校3年生が授業で作成した思い出の本のPOPをお借りし、POPで紹介した本と併せて展示した。各支援校には、作成したものを図書館で展示できる事をアピールしている。

(光) 9月開催の「子育て交流会」を図書館で実施する意義について

→ (田) 子育て交流会は、6月に開催して以来の二回目。ハイハイ未満の子供の親を対象として、育児の悩みを話し合ったり共有したりするといった母親同士の交流を目的としている。ブックスタート事業も実施しているが人数が多くなると交流が難しい。交流が目的であると、余り人数を多くしないような場作りが必要と考えた。参加者からは「家族以外の大人と話す場があってうれしい」、「地域の情報を教えてもらってありがたかった」などの声をいただいている。

一方で、図書館に来てもらうきっかけづくりや、子供連れだと図書館に入りにくいというイメージを変えるといった目的もある。会の最後には、図書館や本の紹介、手遊びも行い、布の絵本やボードブックに興味を持っていただいた。

④ その他

(光) 10月28日開催予定の利用者懇談会について、昨年度、一昨年度と2部制だったが、今年度1部制に変更した理由は。

→ (田) 南田中の懇談会では地域団体の方が多く参加される。こうした中で、児童関係の団体と一般の団体の方の意見が、うまくまとまらないとのことから2部制になった。しかし、団体や地域との交流の観点から、分けるよりも一緒に話ができた方がよいと考え変更した。意見のまとまりといった点は、進行管理を図書館側でしっかり対応していく。